



湯之谷小学校だより



自分で「決める」チャレンジを

令和7年7月30日

暑かった学期末を乗り越え、8月1日より子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。普段よりも自由な時間が増えますが、子どもたちにはぜひその時間を有意義に使い、宿題をこなしつつも、できれば新しい何かにチャレンジしてほしいと考えます。そして、そのチャレンジは子どもたちが「主体的に決めた」ものであってほしいと願っています。

7月の中旬に、校長室に4年生の子どもたちがインタビューに訪れました。インタビューに応えながら、YouTubeなどの動画投稿の話になり、ふと「何かしらの動画を撮って、投稿したいと思う？」と聞いたところ、「うん！ぜひ！」という話になりました。それがきっかけとなり、休み時間のお試し企画として「YUSHO チャレンジ」を立ち上げました。「YUSHO チャレンジ」とは、自分の何かしらのチャレンジをタブレットで撮影して、その動画を、校内ネットワークの所定の場所に投稿するものです。動画がある程度集まったら上映会をする予定です。

さっそく1件歌の応募がありました。歌だけでなく、衣装や舞台効果などがあり大変凝った内容でした。チームで役割分担をし、小道具などを準備し、1週間昼休みに練習し、自分たちで撮影したのです。意気揚々と校長室を訪れ、渾身の成功動画を見せてくれました。その出来栄えに大変驚きましたが、それ以上に子どもたちの得意満面の笑顔、「子どもたちの主体的な姿」に感動しました。そのチームはさっそく第2作をつくり始めているということです。

自分で決めるチャレンジは、自分で選び、判断し、考え、決定できる場でこそ可能になります。自分で決定する経験によって「自分ならできる！」という自己効力感が高まり、また新しいチャレンジをしようと思うようになります。その結果失敗しても、自分が決めたチャレンジならやり直そうと思います。そうしたことの積み重ねが、子どもたちの人生の大切な判断に役に立つはずです。夏休みはこのような「自分で決めたチャレンジ」をするチャンスです。学校でも、子どもたちがチャレンジする機会をこれからもできるだけ用意していきたいと考えています。（チャレンジ動画の募集は夏休み後も続きます）



尾瀬を満喫！

～5年生「ミラクル」学年～

7月2日（水）3日（木）の2日間、5年生が尾瀬学校に行ってきました。1日目は奥只見湖をフェリーで南下し、バスに乗り換えて沼山峠から尾瀬に入りました。そこから尾瀬沼ビジターセンターで昼食をとり、見晴にある宿舎の弥四郎小屋まで、おおよそ10kmを歩き切りました。途中夕立に合い、ずぶ濡れになりましたが、すぐに宿舎のお風呂をいただく



尾瀬の雄大な自然を五感で感じてきました

ことができました。2日目は燧ヶ岳を背に、至仏山を目指して尾瀬ヶ原を縦断しました。途中、ワタスゲやニッコウキスゲなどの花が子どもたちを迎えてくれました。ガイドの方に尾瀬の生態を学びながらゴールの鳩待峠までの約 10 kmを歩きとおすことができました。全行程を無事に終えることができ、子どもたち同士の絆も今まで以上に高まったようです。この経験が、今後の学校生活に必ず生かされると期待しています。

地域のチカラ

～ クラブ活動や水泳安全管理へのご協力いただいています ～



今年度も、4年生以上が取り組むクラブ活動に、地域の方からご協力いただいています。大正琴に挑戦する「伝統音楽クラブ」には、地域から3名の方にお越しいただきました。

大正琴に初めて触れる子どももいましたが、音の出し方を丁寧に教えていただき、どの子も楽しそうに練習していました。大変ありがとうございました。

また、今年からCS（コミュニティースクール）の活動の一環として、子どもたちの水泳授業の安全管理に、地域の方からご協力をいただきました。おかげで水の事故にあうことなく、子どもたちは安全に水泳授業を行うことができました。毎回暑い中でしたが、大変ありがとうございました。

水の事故に気を付けてください

～ 学校では着衣泳の練習をしました ～

「背浮き」のポイントは、息をたっぷり吸って、力を抜くことです。



夏休みはどうしても水の事故が増える時期です。湯之谷小学校では毎年7月の時期に水泳学習の時間に着衣泳を行っています。不意に川や海に落ちたときにどうするかを繰り返し事前に学習することで万が一に備えています。川や海で流されたときは、「あわてずに、浮いて、待つ」がよいとされています。無理に立とうとしたり、着衣のまま泳いで岸まで泳ごうとしたりすることで、水を飲んだり、体力が奪われたりする場合があります。

服は水より軽いものが多いので、何も着ないよりも体は浮きます。その浮力を利用して「背浮き（仰向けに浮くこと）」の姿勢をとることができたら、体力を温存しながら救助が来るまで待つことができます。学校の授業も行いましたが、ご家族等で海やプールに出かけられた際に「背浮き」を練習していただけると幸いです。

学校ホームページ更新しています。ぜひご覧ください。

